



フロアトップ® #6000

アスファルト面用 耐久性 耐摩耗性

フロアトップ #6000 は、耐久性・耐摩耗性の高い既設アスファルト面用塗料・塗布式カラー舗装材です。一般建造物内の既設アスファルト床面の美化・保護・緻密化のほかに、その優れた耐久性を活かして広く屋外の遊歩道・スクールゾーン・公園等のアスファルト面のカラー化に使用されています。

古いアスファルトをキレイに

特長

- 1. 付着性が良い**
既設アスファルト面にプライマー(下塗り材)不要で直接塗装することができます。
- 2. にじみが無い**
既設アスファルト面に塗装しても油分のにじみがほとんどありません。
- 3. 塗装が簡単**
一液型塗料ではけ・ローラーだけで塗装できます。
- 4. 耐候性に優れる**
屋外の既設アスファルト面に塗装可能です。

用途

比較的交通量の多い一般道路やスクールゾーン・公園・遊園地等の広場・自転車道・駐車場・工場・倉庫等の既設アスファルト面

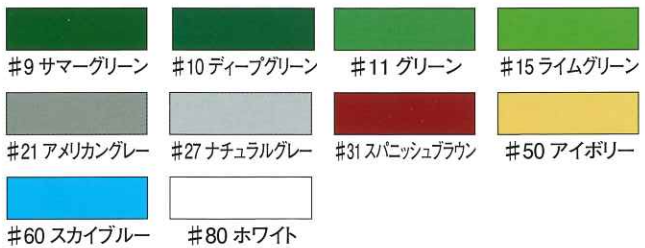
荷姿・塗り面積・標準色

[荷 姿] フロアトップ #6000 : 14L (約 16 kg) / 石油缶

[塗り面積]	コーティング工法 (既設アスファルト面)	約 17 m ²
	コーティング防滑工法 (既設アスファルト面)	約 17 m ²

アスファルト下地の状況により塗り面積は増減します。

[標準色] 10色 (調色も承ります)



※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。
標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



塗装色は#80ホワイト(黄色は指定色)

(一社) 日本塗料工業会登録		消防法:
登録番号	A03102	第四類第一石油類・
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆	危険等級Ⅱ・
		火気厳禁



施工仕様例

①コーティング工法 (0.35mm) [既設アスファルト面]

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (UAS-I) 
上塗り①	フロアトップ#6000	合成シンナーNo.2	0~5	0.53	4~8	
上塗り②	フロアトップ#6000	合成シンナーNo.2	0~5	0.37	—	

②コーティング防滑工法 (0.5mm) [既設アスファルト面]

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング防滑工法 (UAC-II) 
上塗り①	フロアトップ#6000 珪砂6号混入	合成シンナーNo.2	0~5	0.53 0.16	4~8	
上塗り②	フロアトップ#6000 珪砂6号混入	合成シンナーNo.2	0~5	0.37 0.11	—	

※珪砂6号はフロアトップ#6000に対し30% (重量比) を混合します。

注) 下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分攪拌し、均一にした後に行ってください。
- 下塗りと上塗りの塗装間隔を守ってください。下塗りと同じ日に塗装出来ない場合は、下塗りの塗装後1週間以上あけてから上塗りしてください。
- 希釈には合成シンナーNo.2を用い、希釈量は重量比でフロアトップ#6000に対し5%までとしてください。(希釈量が多すぎるとアスファルトのにじみの原因となります。)
- 有機溶剤を使用した塗料のため、換気には充分注意してください。溶剤の蒸気を多量に吸い込んで気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間 歩行開放=12時間以上 重量物開放=24時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- 新設アスファルトに塗装すると、アスファルトがにじむことがあります。またクラックも発生することがありますので塗装を避けてください。
- 摩耗度の高い場所は3回塗りしてください。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品のの中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

■ 本社	〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL (03)3969-3111	FAX (03)3968-7300
■ 加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1154	FAX (0480)65-6909
■ 大阪支店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL (072)872-3111	FAX (072)872-1222
■ 仙台営業所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL (022)249-7371	FAX (022)249-7372
■ 新潟営業所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL (025)244-8011	FAX (025)244-8012
■ 横浜営業所	〒224-0033 横浜市中区茅ヶ崎東3-17-43	TEL (045)943-8911	FAX (045)943-8912
■ 名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL (052)914-3900	FAX (052)916-0892
■ 広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル)	TEL (082)845-2202	FAX (082)845-2203
■ 福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL (092)503-5200	FAX (092)503-5308
■ 加須工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL (0480)65-1159	FAX (0480)65-7146

<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ#6000

